

研修科目	①日系ブラジル人児童・生徒へのポルトガル語教育 ②日系ブラジル人への生活相談対応
分野	教育（幼児教育、日本伝統文化・スポーツ、継承教育等）
コース No.	NL8
研修種別	長期（91日以上、9か月以内）
上期・下期	上期
来日日	5/12
帰国日	2/6
提案団体	特定非営利活動法人関西ブラジル人コミュニティ CBK
提案 URL	<a href="http://kobe-cbk.server-shared.com/">http://kobe-cbk.server-shared.com/</a>
現職・資格・知識	社会人としての経験が豊かなこと
経験年数	実務経験 5 年以上
日本語能力	N2
ポルトガル語・スペイン語能力	ポルトガル語（母語）
① 目標	<p>①教育問題（母語・母文化の継承）：土曜日は母語教室の講師として、ブラジル人子弟に最新のブラジルでの指導方法にて授業に当たる。週日は教材の準備をする。また現状の講師と共に良い指導法を研究する。帰国後にブラジルからリモートで授業が行えるように、日本の現状を学ぶ。</p> <p>②日系ブラジル人への生活相談対応：電話または来室する相談者にポルトガル語で対応する。個人の悩みを聞くことと共に、日本の公的社会保障制度や在住各国コミュニティ団体の支援状況を学ぶ。現在日系人社会では高齢化問題が発生している。ブラジルでは高齢日系移民対象の施設が存在するが、日本国内にはまだ無い。</p>
② 成果	<p>①②の推進には、日本とブラジルの人的な交流を深めて活動を活性化し、双方のより良い日系人社会を作る必要が有る。ブラジルへの日本移民の歴史は 115 年を迎え、現地では日系人に対する評価は高い。ブラジルから日本への日系人の大規模な移動は 33 年になる。第一世代から次の世代に移りつつあるが、国内での日系人の立場はどのようなものであろうか。危惧しなければならない問題が数多くある。</p> <p>研修員が当法人で学ぶことにより、日系人の現状を把握し課題の解決にブラジル側で活動できることが期待できる。また国内の日系ブラジル人が自信を持つて（持って）暮らすことが出来るように、特に若者のアイデンティティの確立をサポートする力が備わるものと思われる。</p>
③ 計画（内容）	①土曜日は CBK が主催する「児童生徒対象の母語教室・母語による学習支援教室」でポルトガル語講師を務める。週日は教材の準備等、教室の運営にかかわる業務を行う。また事務所内で一般事務を行い NPO の運営を体験する。

	<p>②日系ブラジル人の生活相談対応:電話または来室による相談には、CBK スタッフと共に対応して現状の把握、解決方法などを学び共有する。</p> <p>国内の日系ブラジル人の状況を把握するために、CBK スタッフと共に各地の支援団体を訪問する。</p>
<p>本研修実施の意義 現地日系社会への裨益効果</p>	
<p>備考</p>	<p>①前年度に引き続き 2 回目の研修員受け入れになる。1 回目の研修を通じて得られた知見を生かし、研修員/弊法人双方がより良い成果を得られるよう務めます。</p> <p>②研修場所である、海外移住と文化の交流センターは 95 年の歴史を持ち、移住関連の資料が豊富に保管・公開されている。研修員はいつでもこれらを閲覧・学習できる。</p> <p>③弊法人の運営スタッフ 5 名の内 3 名がブラジル生まれの 2 世。2 名はブラジルへの移住体験者であり、全員がポルトガル語と日本語での業務遂行が出来る。両国の生活習慣や文化なども十分理解している。このために研修員は来訪当初から戸惑うことなく研修活動に専念できる。</p>